

番 号 1

平成20年12月 4日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 2番 佐藤 直 樹

		平成20年12月 4日 午前10時02分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>◎観光施策</p> <ul style="list-style-type: none">・市直営の駐車場の料金について。・桜の木のオーナー制は考えられないか。 <p>◎防災計画</p> <ul style="list-style-type: none">・防災無線の整備計画について。 <p>◎行政改革の財政効果について。</p> <p>◎定額給付金について仙北市の対応は。</p>		
上記のとおり通告します。		

番 号 2

平成20年12月 4日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 5番 大石 温 基

		平成20年12月 4日 午前11時25分 受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨		備 考	
1. 地域センターのあり方 ・各地域センターの進め方 2. 仙北市で医師の育成を 3. 環境整備のスピードアップを ・上下水道 ・防犯灯設置等 4. 農業経営対策について 5. 子供の教育について ・小中学校の不登校 6. 危機管理対策について			
上記のとおり通告します。			

番 号 3

平成20年12月 4日

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 23番 戸 澤 清

		平成20年12月 4日 午前10時20分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>①市政推進の姿勢について 総力結集体制が市発展のポイントである。 議会と協力して推進・運営を行おうという共有感が見受けられない。議会との連携をどうお考えになっておられるのか。</p> <p>②観光部の新設について 観光産業を活かした北東北の交流拠点都市をめざすと将来構想にあるが、それに向けた市の特色ある政策が見えない。 関係機関との協調協力を得ながら専門に取り組む体制づくりが必要でないか。</p> <p>③新年度の重点政策と人事について 財政の逼迫している状況下にあって、明確に集中させた政策と予算で市民の協力をもらう必要がある。 新年度は、まず何を重点に取り組まれるのか。 今年度で部長クラスが6名も定年退職される。人事にあたっての基本方針はどうか。</p>		
上記のとおり通告します。		

番 号 4

平成20年12月 4日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 11番 八 柳 良太郎

		平成20年12月 4日 午前11時57分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>テンミリオン計画について</p> <ol style="list-style-type: none">1. プロジェクトの成果は上がっているか。 ・今期観光客数の見通しについて2. 22年度目標への具体策はあるのか ・自然公園観光、行祭事別観光、施設別観光の重点目標について3. 観光課の分離と強化について <p>産業振興について</p> <ol style="list-style-type: none">1. 企業誘致と企業・起業支援について		
上記のとおり通告します		

番 号 5

平成20年12月 4日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 18番 高 久 昭 二

		平成20年12月 4日 午前8時30分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>①石黒市長の残任期間と取り組むべき課題</p> <ul style="list-style-type: none">・仮 本庁舎設置と市民生活を守る課題・不況下の元での雇用創出等・次期市長選について <p>②仙北市の生活保護行政について</p> <ul style="list-style-type: none">・生活保護行政のあり方 (資産活用及び借り入れ住居等含め)・個人情報開示について		
上記のとおり通告します。		

平成20年12月 4日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 3番 黒 沢 龍 己

		平成20年12月 4日 午前11時59分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>1. 畜産農家の活性化と有機農業の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度から大幅な肥料等の高騰により、水田・畑作農家はこの先の経営を大変心配している。 <p>そうした中、最近、食の安全・安心な農産物が非常に好まれている。今後はそれに付加価値を付けるためにも、循環・環境保全型農業が見直され、大切と考えられる。そこで仙北市の畜産農家の堆肥を有効に使うことで多くの農家、市民が利用できる施設、又、市の施策として堆肥センターの建設について伺う。</p> <p>2. 農村の生活環境と農地生産基盤整備の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙北市も平成から担い手育成ほ場事業で、大区画整備を実施している。しかしながら昭和40年～50年後半に整備されたほ場は20a～30aで、当時まだ用排水が土側溝の状態が多く見られる。この先農家が維持管理上、大変であるとの声が数多く聴かれる。今後、このような状況の用排水路等、整備解消に向けた計画・取り組みについて伺う。 		
上記のとおり通告します		

番 号 7

平成20年12月 4日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 9番 小 林 幸 悦

		平成20年12月 4日 午前10時15分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>1. 第三セクター（花葉館、西宮家、クリオン、アロマ）の運営について</p> <ul style="list-style-type: none">・三セクを市が統括して本部を作り各施設の役割を分担し、事業の明確化を図ることにより、営業、管理、経理等、統一できるものを統一することで効率的な運営ができると考えるがどうか。・市が掲げているテンミリオン計画も三セク力なしで実現は厳しいと思う。これを三セクの事業計画とし、一本化することで充実した取り組みができるのではないか。 <p>2. 市の遊休財産（土地）の利用計画について</p> <ul style="list-style-type: none">・市の遊休財産（土地）で利用計画や協議中のものもあるようだが、どのような計画が協議されているのか伺いたい。・角館駅前の旧角館農協から取得した土地を宅地造成し、若い人を優先に格安で分譲して家を建ててもらおうことで、定住対策にもつながると思うがどうか。 <p>3. 木質バイオマスエネルギー事業とバイオエタノール技術について</p> <ul style="list-style-type: none">・木質バイオマス事業が実用化された場合エネルギー源となる木材を先人が残してくれたものだけでなく資源を作り出す植林事業も必要ではないか。・秋田県はバイオエタノール技術の研究が全国でもトップクラスで進んでいるようだ。市として研究施設、実証施設の誘致はできないか。		
上記のとおり通告します		

番 号 8

平成20年12月 4日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 16番 浅利 則 夫

		平成20年12月 4日 午前11時03分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>◎ 国保における被保険者資格証明書の交付について 無保険状態の解消を図るべきであるが、ご所見は。</p> <p>◎ 後期高齢者医療制度にあっても、被保険者の無保険状態が生ずる可能性も出てくると思われる。資格証明書を交付することのないよう求める。又、減免制度の充実を図るべきと思うが、ご所見を伺う。</p> <p>◎ 福祉灯油の実施について</p> <p>◎ 民間住宅の耐震化政策について 合わせて市内、幼・保・小・中校の耐震化の実施状況について</p> <p>◎ 過疎地域自立促進計画（H17年度から平成21年度）の事業進捗状況について 合わせて計画の中のプール建設並びに総合グランド建設のスケジュールについて、ご所見を伺う。</p>		
上記のとおり通告します		